

男と女のいきいきコラム

VOL.28

何歳から老人

今月18日は、敬老の日です。この日は、国民の祝日に関する法律で定められていて、多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日とされています。さて、よく知っている「老人」という言葉ですが、何歳からとするかはさまざまです。還暦は60歳ですが、年金は65歳から、老人健康手帳の交付は75歳、車の運転時に見かける高齢者マークは70歳、敬老会は、80歳からです。変わったところでは、中年を過ぎる年に入りかけた年ごろを指す「初老」は、40歳のことだそうです。

また、人口を年少人口（0～14歳）・生産年齢人口（15～64歳）・老年人口（65歳以上）に分けたり、「何人に一人が老人」「急速に高齢化が進む」というときに使われている高齢化率も、65歳以上の人の割合をいいます（本市の場合23・8%で、4・2人に1人の割合です）。

さまざまな場面で老人を指す年齢が示されていますが、当然、老いは個人差があります。現に平成17年高齢者白書にも65～69歳の人について、男性の半数強、女性の3割弱の方が

仕事に就いていて、仕事をしていない人でも男性の5割弱、女性の2割以上の方が就業を希望していると示されています。女性の場合は、家事を担っている人も多いので、隠居生活のおじいちゃん、おばあちゃんのイメージとは程遠く、生産年齢人口の人と何ら変わりなく、現役で元気な方が多いことが分かります。

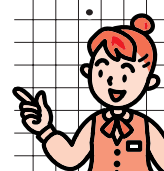
男女共同参画というと、法律で「性別にかかわらず一人ひとりの個性と能力が十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現」と表されているため、とかく男女の視点でのみとらえがちですが、誰もがその人らしくという意味では、年齢においても関係なく活躍できることも重要です。もう年だからと自分から制限してしまうことなく、新しいことに挑戦する気力を持ち続けましょう。

そして、今年の敬老の日を孫からおじいちゃん、おばあちゃんへ「長生きしてね」の気持ちをこめてプレゼントをする日だけではなく、社会に貢献してきた、また、今も続けている先輩へ尊敬と感謝の意味も込めて過ごしたいですね。

施設紹介

第5回

土岐市産業文化振興センター・セラトピア土岐



産業・文化の育成強化を図るための活動拠点として、会合の場、見る場、勉強する場、交流の場など、さまざまな機能を備えた施設です。

◆施設内容

- 1階 大ホール、美術ギャラリー、陶土う庵（陶磁器展示販売）、和展示室、和室、催事コーナー、応接室
- 2階 小ホール、美濃焼歴史コーナー、市民ITセンター、レストラン
- 3階 大会議室、特別会議室、会議室、応接室

◆開館時間 午前9時～午後10時

◆休館日 年末年始（12月28日～1月4日）

◆駐車場 250台

◆申し込み

- ・産業の振興を目的とする場合＝使用日の12カ月前より
- ・それ以外の目的の場合＝使用日の10カ月前より

◆使用時間 午前9時～午後10時（準備および後片付けに要する時間を含みます）

◆住所 土岐津町高山4番地 ☎642120